

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 4 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念をミーティング等を通じて職員に伝えているが実践に繋がっていない現状がある。新人スタッフでもわかりやすく、より具体的な文章や言葉にするなど検討していきたい。	スタッフ全員で理念を理解し、日々のケアに実践していく。	理念について年に2回勉強会を行い、どうしたら日々のケアに活かせるのか話し合う機会を増やし、共通課題を持ち、具体的な対策を施設長とともに考えていく	12ヶ月
2	36	思いを受け止め利用者の立場に立って言葉がけを行い対応しているが、気持ちに余裕がない時など配慮に欠けた言葉がけになる時があるのではないだろうか。“業務優先”になっていないかの確認を行い、理念の振り返りをおこなっていく。	業務優先ではなく利用者中心のケアを行えるよう務める	全体会議や理念についての勉強会を利用し、定期的に理念を再確認し、業務優先になっていないか、各自が振り返る機会をつくり利用者中心のケアを考える	12ヶ月
3	35	お米の備蓄はあるが、その他の食料や飲料水、トイレ、寒さをしのげる毛布等の備品があるものの不十分であるため、災害が発生した時にどうするのが課題である。	災害を予測した食料や毛布等を用意する	ホームの予算もあるので税理士や経理担当と相談しながら出来る範囲で行ってきたい	12ヶ月